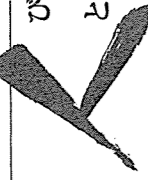


たたかい



■ 突然校長室で

ある時突然、校長室に呼ばれて、組合に入っていることを告げられ、それから校長などからもの凄いいじめ、嫌がらせが始まりました。

大学院修了後、教員になって40年間子どもたちに寄り添って過ごしたい、自分が大好きなバレーボールの指導をしたい、そんな思いに夢を膨らませていた吉田さん。帝京長岡高校の女子バレーボール部の監督から声をかけられ、同校の数学の教員として勤めることになりました。この高校は、女子バレーボール部を強化指定クラブとし、学費免除の特待生を採り、全国大会で優勝することを目標にしています。働き始めてからは、生徒とのふれあい、生徒の保護者との関係でも、少しずつ信頼関係を強めていくことができていきました。

「強化指定クラブの監督は、優れた生徒をスカウトし、学費免除の特待生にすることができると。そんな立場の人間が組合に入るというのは、校長にしてみれば、もの凄いいじめ行為だということらしく、私に何度もそう言ってきました。」

吉田さんは「強化部の監督をしているということ、組合に入ることは関係がない」という立場を貫いていました。そうしたところ、翌年度の4月1



2歳になる愛娘・理沙ちゃん

最後までたたかいて抜く

日に「部活動の指導が厳しい」とか「保護者から手紙が来たが、あれはお前が書かせたんだろ」となど身に覚えのないことで処分(けん責と謹慎)を受け、同時に女子バレー部の監督からも外されました。

吉田さんはすぐに組合を退し、団体交渉をしましたが、監督に戻されることはありませんでした。そこで、新潟県労働委員会に救済の申し立てをおこなった。2年たたかいました。その結果、処分撤回、女子バレー部監督に戻すこと、謝罪文の手交などができました。

しかし、学園側は、中労働委員会に再審査を申し立て、今年2月18日に中労働委員会から県労働委員会の命令に沿った

和解勧告が出ましたが、学園側が拒否し、和解は決裂。

翌朝、出勤したら、タイムカードを押したところで、校長室に呼ばれ、解雇されました。理由は、授業中の発言が悪いということ。それから、今まで何回も注意しているのに反省が戻られず、教員として不適格ということでした。今年、5月1日に、新潟地裁長岡支部に、地位保全と賃金支払いの仮処分を申し立てをおこない、たたかっています。」

「組合員になってからの私の教員生活は、組合員でない人たちにずっと監視されているという状態でした。クラブの生徒との会話の内容のことで校長室に呼び出されたり、スポーツ用品店のお金のやり取りを徹底的

新潟・帝京長岡高校・不当解雇事件

よしだ 吉田 だい 大 さん

した。このことは、校長などのパワハラがあったということとで、学園側が裁判を起すされています。それに対して、学園側はその母娘の尊厳を訴えたのではなく、吉田が暴言をやらせており、吉田のテロだということとを授業中に校長の取り巻き教員が言っていました。それで、校内では生徒が『あれは吉田先生が暴言らしいよ』と言っている状況です。」

■ 許せないのは

「この度の不当解雇事件で、私が許せないと思うのは、組合に入った教員をあたかも虫をつぶすかのように攻撃をしていく。校長自身の保身のために私の人生をぐちゃぐちゃにされたこと。そして、私だけでなく、私にかかわった生徒までも人生を壊されたことです。卒業生には、『先生、あんたここに戻らなくてもいいよ』と言われることもありますが、ここで引いてしまえば相手の思うままなので、ここは引けないと思っています。」

「私を応援したことで学校をやめることになった生徒が2人います。そのことで、組合を続けていいのか、すごく迷った時期もあります。一人は、私の指導を受けるために埼玉県から新潟に来た子だったので、私を監督から外すことに対して、校長に抗議をしたわけです。その子は、福島の高校に転学しました。そういうことがあれば、普通選考の保護者は私に対しても怒ると思いますが、そのお父さんは、労働委員会も証言に立ってくれて、吉田先生は何にも悪くないと言ってくれました。そして、その子はいま、私みたいな教師になると大学で学んでい

ます。

もう一人の生徒は、お母さんが校長と理監督らにみんなの前でつるし上げられた子ですが、その子は、バレーボールをやることが怖くなって、バレーボール部がない高校に転学してしまいました。現在、被害を受けたということで、校長らと裁判でたたかっています。

そういう2人の為にも、現場に戻って、私は悪くないということを証明したいです。」

解雇された吉田さんに収入はありません。「収入がゼロになるというのは、どんなものかという恐怖がありました。しかし、支援を訴えるなかで支えてくれる人たちに出会えたことが、自分の中では、前向きに考えられることができるものです。

裁判を勝つためにいま、新潟地裁長岡支部に対して、正しい命令を出していただきたいという署名運動に取り組んでいます。

帝京大学という巨大な組織を相手にたたかっているのに、不安は消えないのですが、最後までたたかいて抜くように頑張りたいと思います。ご支援お願いします。」

《応援歌》 支援者が作詞・作曲した応援歌「勝利する日まで」(YouTube でみられます。)

<https://www.youtube.com/watch?v=t-feRdGY8sM>

《激励・問合せ先》 〒950-0925 新潟県新潟市中央区弁天橋町1-13-13 私学会館 新潟私教連 ☎: 025-288-7600 ㊂: 025-288-7610

《要請先》 〒940-1115 1 新潟県長岡市三和3-9-28 新潟地方裁判所長岡支部 金田健児 裁判官